

横浜市では、旧市民病院の老朽化等により再整備を進めてきた新市民病院がこのたび完成、開院の運びとなりました。新市民病院は隣接する三ツ沢公園と一体となる次世代型の「パークホスピタル」として療養環境を重視し、市行政や関係機関と連携した政策的医療を積極的に担うとともに、地域医療全体の質向上にも貢献します。

新市民病院は、三ツ沢球技場からの声援、照明の影響が少ない南側に入院病棟と外来を、球技場側にスタッフ、診療ゾーンを配置しています。またがん医療の充実をはじめとする医療強化、個室を増やすといった療養環境の改善はもとより、公園と一体化したロータリーやカフェなどが入る便利施設棟を設置しサービス向上を実現。大規模災害時には災害拠点病院として機能します。



【物件概要】
所在地：神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
敷地面積：23,836.46 m² (診療棟)
延床面積：68,790.79 m² (診療棟)
規模・構造：地下2階・地上7階建S造一部RC造
施主：横浜市
設計：(株)佐藤総合計画
施工：建築/戸田建設(株)・(株)松尾工務店・馬淵建設(株) JV
電気/ (株)九電工・(株)大三洋行・丸子電気工事(株) JV
竣工：2020年3月

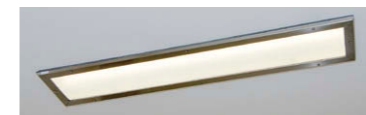


手術前ホール クリーン度を重視したLEDベースライトHACCP・クリーンルーム兼用形①の照明。

患者に安心感を与え、医療従事者にとって機能的であるLED器具を採用。

診療棟全体の照明は、来院者に対して安心感を与え、医療従事者に対しては機能的であることです。色温度は各ゾーンの機能に合わせて、病室が3000K、廊下・待合室が3500K、診療室・検査室などは4000Kに設定されています。2階の手術前ホールや4階のNICU*などはクリーン度が求められるため、HACCP・クリーンルーム兼用形のLEDベースライトを設置。手術前ホールは4000K、NICU*の処置ゾーンは3000K、スタッフゾーンは3500Kとしています。NICU*は新生児の目に

優しい照明とするため調光機能付としています。内視鏡室はLEDベースライトとLEDユニット交換形ダウンライトを併用。患者とモニター両方を見やすい明るさにするための調光機能付です。各階にあるスタッフステーションは埋込形のLEDベースライトとLED一体形ダウンライトを設置。天井面をすっきりと見せ、作業を行うカウンター面を明るく照射します。エレベーターホールや廊下はLEDダウンライトを3500Kの温白色に統一し、落ち着きと癒しをもたらす空間を演出しています。



LEDベースライトHACCP・クリーンルーム兼用形

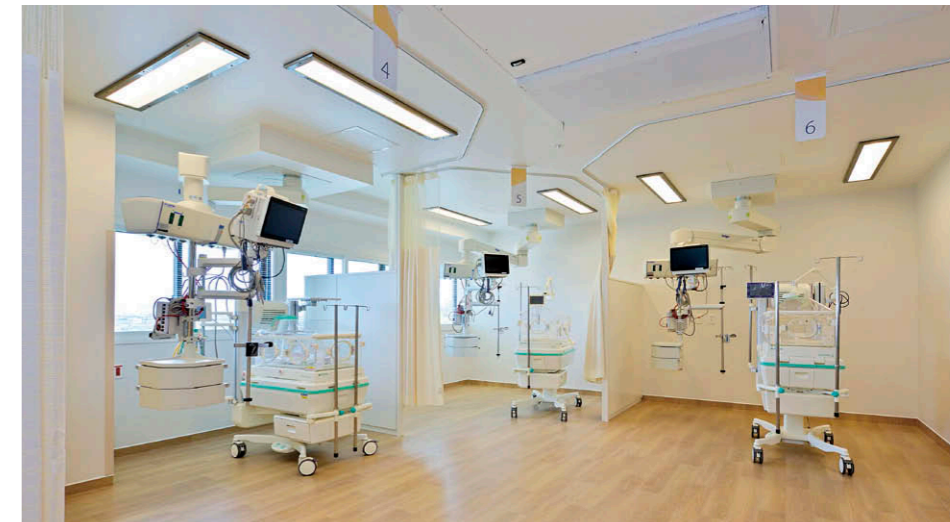


LEDベースライトTENQOOシリーズ

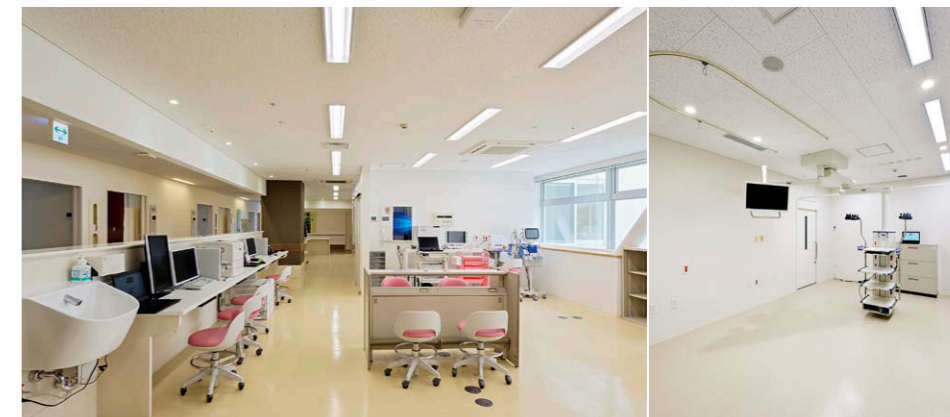


LEDユニット交換形ダウンライト

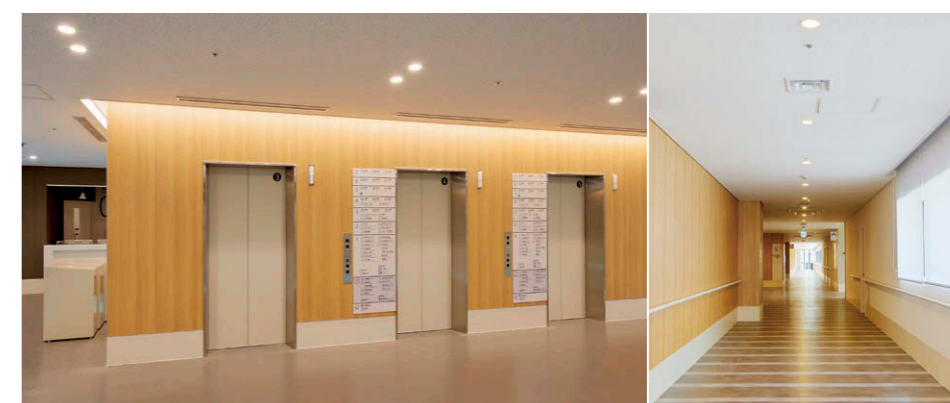
*NICU:新生児特定集中治療室



NICU* 調光可能なLEDベースライトHACCP・クリーンルーム兼用形②③の照明。



(左)スタッフステーション LEDベースライト④ LED一体形ダウンライト⑦を配置。
(右)内視鏡室 調光可能なLEDベースライト⑤とLEDユニット交換形ダウンライト⑧の照明。



(左)エレベーターホール LEDユニット交換形ダウンライト⑥の温かみある照明。
(右)廊下 LEDユニット交換形ダウンライト⑥の照明。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
院内	①LEDベースライトTENQOOシリーズ埋込形HACCP・クリーンルーム兼用形	LEKR425693VW-LD9	319	消費電力：45.0W
	②LEDベースライトTENQOOシリーズ埋込形HACCP・クリーンルーム兼用形	LEKR425693VL-LD9	14	消費電力：45.0W
	③LEDベースライトTENQOOシリーズ埋込形HACCP・クリーンルーム兼用形	LEKR425693VWV-LD9	11	消費電力：45.0W
	④LEDベースライトTENQOOシリーズ埋込形下面開放	LEKR415693W-LD9	409	消費電力：43.0W
	⑤LEDベースライトTENQOOシリーズ埋込形システムアップ	LEKR416693VW-LD9+F-41123	247	消費電力：43.0W
	⑦LEDユニット交換形ダウンライト	LEKD153013WV-LD9	1450	消費電力：10.6W
	⑧LED一体形ダウンライト	LEDD-05011BN-LS1	181	消費電力：7.8W
	⑥LEDユニット交換形ダウンライト	LEKD2533013W-LD9	112	消費電力：17.5W